

平成 27 年 12 月 12 日

P T A 第 7 回運営委員会

あしたのあさひ

～P T アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

暖冬という予報ですが、ご家族のみなさんはお元気ですか。一般受験での合格を目指している3年生は、風邪に負けず、最後まで頑張ってください。

さて、女子バスケットボール部が、ウインターカップ初出場という悲願を達成してくれました。何年にもわたる悔しさを忘れず、厳しい練習に耐えて得られた成果です。おめでとうございます。

そして、旭高校P T アクションが、神奈川県立高等学校P T A連合会の発表に選ばれた3校の中でも素晴らしい評価をいただきました。担当された方のご努力はもちろん、P T アクションをご理解していただいた参加者が少しずつ増えていることが力となりました。おめでとうございます。

校長として、改めて気づいたことは、旭高校の挨拶の素晴らしさです。先駆けた取組を研究するために実践している県立高校を、また、旭高校の良さを知っていただくために中学校を訪問してきましたが、訪問先で、生徒から挨拶を受けた学校は本当に気持ちが高く、旭高校に来ていただいた方に、同じ気持ちで帰っていただけていると思うと、うれしくなりました。

登校時、昇降口の前で定期的に声掛けをしており、「おはようございます」の返事が返ってくると素敵な一日が始まる感じがします。より多くの生徒が、誰にでも笑顔で挨拶をかわせる。そんな学校が一番ではないでしょうか。

旭高校は生徒会の新役員が、ひとつ上の力を出してくれると期待しています。横浜中地区交通安全高校生・P T A大会で、他の4校の発表があり、白雪姫のストーリーを使って交通規則を確認させるなどユニークな構成がありました。交通安全宣言も、自分の考えをしっかりと伝えていました。高校生の力は無限です。同じ高校生の力を見たことで、自分たちの未来の力を確信したと思います。

生徒の活動状況

【神奈川県立学校の生徒表彰】

- 平成 27 年度神奈川県教育委員会表彰として、**サッカー部**（気仙沼復興支援活動）および旭高等学校と三ツ境養護学校との交流活動「**ビリーフ**」が選ばれました。
- 平成 26 年度は、バスケットボール部とサッカー部が「アサヒカップ」の取組について表彰されています。この表彰は、次のような内容で選ばれています。
 - （1）新たな取組みや困難な課題等に果敢にチャレンジしたもの
 - （2）地域・社会に顕著な貢献をしたもの
 - （3）他の模範となるようなボランティア活動を行ったもの
 - （4）適切な判断のもと、人命救助など勇敢な行動をしたもの など
- この他にも、旭高校生は活躍し、その取組を継続させています。さらに、社会のニーズに応じた取組をしてくれると期待しています。旭高校での活動が認められることは、生徒自身の励みになると思います。これからも、学校は生徒の活動を応援し続けます。

学校の取組

【授業研究】

- 「いのちの尊重に関する教育」の公開授業が 11 月 17 日（火）に行われました。
- このテーマの研究推進校として 3 年目。「いのちを輝かせる豊かな心と健やかな心の育成」を主題として研究を進めており、学校行事、部活動、総合的な学習の時間を通して心を育んできました。ボランティア参加への声かけや、いじめ防止に向けた人権教育などで、献身的で人の気持ちがわかる生徒が育っています。
- 昨年度は、すべての教科を通して取り組むことに力を入れました。そして、いのちそのものの題材に加え、他者の意見を聞くことや発言をする機会を保障するなど、人権の視点を取り入れた授業の研究を進めました。この取組が評価され、教育委員会から事例発表校に推薦されたことは、すでに紹介させていただきました。
- そして、今年度は、「生徒が他者尊重の心を学んでいる」という評価を教育委員会の指導主事からいただきました。さらに、「生徒の発言を教師が促している」というように、アクティブラーニングの手法や、ICT（視聴覚機材）を活用して、生徒がわかる授業、基礎基本が定着する授業への改善が進んでいることが確認できました。研究授業の前に、教科での協議を設けることで、いのちの大切さとともに、50 分がより濃い内容になりました。この取り組みを進め、旭高校独自の、旭高生を伸ばす学びとなるよう、継続して研究していきます。